

「東千葉メディカルセンター」について

加藤岡 美佐子 議員

問 山武の医療過疎地区に地域の中核病院として、東千葉メディカルセンターが4月にオープンしました。建設費85億6千万円の県支援の他、人的支援、免震構造への変更により、プラス9億円と膨大な支援のもと建設されたものです。一市二町による医療センター計画で、話し合いのテーブルから離脱して8年間の間、大網白里は高見の見物でした。病院が4月オープン前に一般向けに院内施設の公開があったようですが、本市から約450名の住民の皆様が、大きな関心と期待を持って見学されたと聞いております。

ネットになったことが充分わかりません。まず医療圏としてテーブルに付けていただき、それからの段階ではないかと思えます。

病院オープン後、即救急搬送された患者も、入院されて手術第1号も大網白里市の住民であったと聞きまいた。同僚議員の皆様、この事実をいかに受け止めますか。金坂市長においては、山武医療圏への勧誘や協力を要請され、明確な回答を避けて歯切れが悪い。市長の本心と決意、大網病院の現状と今後の方針を伺います。

市長 本年1月に県から山武、長生、夷隅地域を保健医療圏とした3次救急への位置づけの中で医療割合に応じた財政支援を求められている。今後、県関係市町村と協議してまいります。

答 大網病院の現状は前年に比べ外来数10%減、入院病床稼働率70%、75%、常勤医師数が2年前に比べて

内科医が3名減少しており、院長がフル回転で外来診療を行っている。地域における大網病院の果たすべき役割を明確にして、東千葉メディカルセンターとは、緊密な連携、協力体制のもと補充し合える関係をつくり上げたいと考えている。

問 ご当地グルメグランプリの開発について

答 「いわしっこ」と「びいっこ」の二品を選定し「大網いちごロール」も商品化しました。

問 津波等の災害時海岸の北部からの避難道路の進捗状況は。

答 北今泉等寛寺から準県道を超えた狭隘部の道路拡幅について計画がまとまり、用地の協力をお願いしている。

は？

○調理機器備品台帳によると、昭和57年購入の野菜切り機など、事故のあった調理機器と同様の古い機器が何台もある。耐用年数の大幅に経過した調理機器を交換することが必要ではないか？

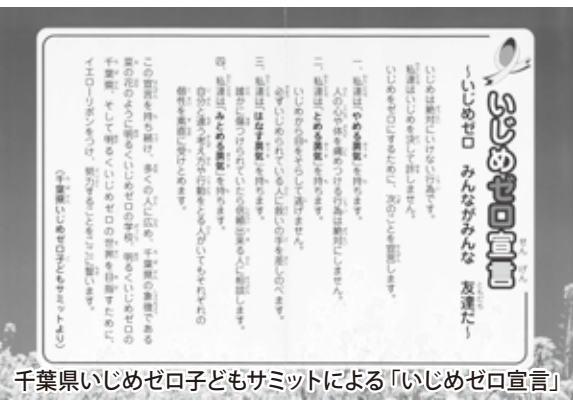
答 調理現場の状況等は、日常各学校の栄養士が確認しております。本市の調理機器の交換の基準はございません。施設や給食調理機器の不備があった場合は、早急に部品交換や修理を行っている。また耐用年数の大幅に経過した調理機器については、事故防止の観点から交換をすべきと認識しており、今後、計画的に更新してまいります。



「危機管理体制」の構築

北田 宏彦 議員

問 本市教育委員会は、昨年末の答弁どおり「大網白里市いじめ防止基本方針」を策定し、各小・中学校も、学校の実情に応じた「いじめ防止基本方針」を策定しているが、



千葉県いじめゼロ子どもサミットによる「いじめゼロ宣言」

○昨年12月、教育長は「いじめ防止基本方針」の条例化について、県の動向を見ながら研究課題としたいと答弁している。千葉県は条例制定したが、本市は如何するのか？

○いじめゼロを目指したイエローリボンキャンペーンなどを参考に、意識を高める展開をしては如何か？

答 条例の制定及びいじめ防止の意識向上を図ることについては課題として研究したい。

教育委員会、各学校においては、実効性のある防止策が求められる。今後の運用にあたり、不備のないよう取り組んでいただきたい。

問 「学校給食の異物混入対策」について質問する。

昨年、学校給食に金属片や虫が混入する事案が、各地で起きてきているが、本市の「異物混入対策」について伺いたい。

○責任ある立場の者が、調理現場の状況を把握する必要があるのでは？

○調理機器メーカーでは、ほとんどの機器の耐用年数を約8年としているが、本市の調理機器の交換の基準

東千葉メディカルセンターの救急部門への財政支援を！

堀本 孝雄 議員

問 今回5人の幹部職員の早期退職に対し、どのように受けとめているか。

副市長 慰留に努めたがそれぞれ意志が固く、その思いを尊重し私としては非常に残念という気持ちです。

問 東千葉メディカルセンターの救命救急センター事業部門への財政支援要請に対し前向きに取り組むべきと思うかどうか。

答 今後、財政支援については、県並びに関係市町村と十分協議をしてまいりたいと思っております。

問 旧白里高校の利用計画についてお尋ねします。

答 (仮称)大網白里特別支援学校として、平成27年4月に開校予定であり、7月に地元説明会を県教育委員会では予定していると聞いており

問 通学路の安全対策についてお尋ねします。

答 43カ所の要対策箇所のうち、みどりが丘の交差点への信号機の

設置等、平成25年度までに32カ所が終了し、今年度中に増穂幼稚園前の歩道整備工事の着手など5カ所を予定しています。残り6カ所については順次対応していく予定です。

問 津波対策にかかわる防護施設に



4月から開院した東千葉メディカルセンター

答 事業主体である千葉県に確認したところ、波乗り道路を標高6mまでかさ上げすることを基本的な構造とし、本年度に細部の構造等を検討する詳細設計を実施の上、地元説明会を開催し、平成27年度より工事着手する予定とのことです。またアンダーパス部分の構造についても、詳細な設計を実施の上、波乗り道路のかさ上げ工事と一緒に進めていくとのこと。

問 昨年の台風26号の検証と対策は。

答 大竹地区の抜本的な解決策として、引き続き金谷川改修事業の進捗を図っています。白里地区の北今泉排水機場、堀川排水機場については、排水能力を高めるためのポンプ交換及び補修をしたところです。

問 白里第一保育所、大網幼稚園に

関連する認定こども園の整備計画の進捗状況はどうか。

答 昨年11月に検討会議を立ち上げ、先進地の視察を行うなどして検討しております。

コンセンサスを大切に、ゴミの減量化を商業施設などへ、リフォーム助成を

佐久間 久良 議員

問 混ぜればごみ、分別すれば資源という言葉があります。さらに分別を増やし、ごみを減らすことを考える時ではないか。

答 ごみ分別の細分化、収集方法の変更は、ごみ集積場の広さ、収集費用、収集後の処分方法、市民の皆様のご負担など、さまざまな問題がありますので、よりよい方法を模索してまいります。



分別してゴミを減らそう

問 紙くずやビニール類などは、再生可能であり、資源というべきもの。特に生ごみについては、各地で生ごみを活用した取り組みも始まっています。資源化、堆肥など環境に優しい循環型の処理をしたらどうか。

答 生ごみ削減の施策として、堆肥の処理機購入の助成制度を行ってきました。さらなる取り組みにつきましては、先進事例を調査し、研究させていきたい。

問 産業振興について伺う。少ない助成で大きな効果上がる、そして何よりも地域活性化の起爆剤というのが、住宅リフォーム助成制度。助成額を50万円まで引き上げ、限度額

に達するまで何度でも利用できるようにできないか。

答 限られた財源をより多くの方に利用していただきたいので、現時点では補助額や利用回数の引き上げは困難と考えています。

問 現在のリフォーム助成では、住宅が対象で、商店などの商業施設などは対象外。商業施設のリフォーム助成制度があれば、新たな入居者を呼び込めるし、市の活性化につながり、税収も増えるのではないか。

答 現行の住宅リフォーム助成制度では、店舗、事務所などの用途に供する部分には、補助対象から除外しており、対象とすることは困難。新たな助成は、今後、国等の動向などを注視していきたい。

問 交付税措置等がなければならぬというのではなく、商店などの活性化も、市の施策のひとつ。国の動向だとかではなく、ぜひとも積極的に取り組んでいただきたい。

このほかに水道料金の引き下げ、道路整備などについて質問しました。